

教科シラバス(1年英語科)

教科名	英語	科目名	コミュニケーション英語Ⅰ	学年	1年 (一般・習熟)	単位数	4
			英語表現Ⅰ				2
教科書と副教材		BIG DIPPER English CommunicationⅠ、BIG DIPPER English ExpressionⅠ BIG DIPPER CommunicationⅠ ベーシックノート、英単語ターゲット1200、リスニング問題集 All Ears vol. 1、BIG DIPPER English ExpressionⅠ ワークブック、BIG DIPPER English Expression Grammar in 25 lessons、Treasure Hunt 1, 2、What's up?					
1. 科目目標	<p>(コミュニケーション英語Ⅰ)</p> <p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。</p> <p>(英語表現Ⅰ)</p> <p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。</p>						
2. 学習方法	<p>(1) 授業の持ち物 教科書、問題集、ファイル(科目毎に替えてください)、辞書(参考書は主に家庭学習用ですが、授業で扱うこともあります。)</p> <p>(2) 予習の方法 前もって、指定された次回の授業の箇所を読んでおきましょう。</p> <p>(3) 授業の受け方 < 授業では、授業内容を「正しく理解する」ことを心がけ、わからないときは、「積極的に質問」しましょう。 ></p> <p>ア 授業は集中して受け、先生の説明をよく聞いて、板書をプリントやノートに正確に写すことを心がけましょう。</p> <p>イ 教科書、問題集の練習問題は、自分の力で解くように心がけましょう。また、先生が解答を示したら、必ず自分で答え合わせをして、理解できた点とそうでない点を明確にする習慣を身につけましょう。</p> <p>(4) 家庭学習の方法</p> <p>< 家庭学習では、「わかる」から「できる」にまで理解を深めることを心がけましょう。 ></p> <p>ア 授業で習った箇所の教科書、プリントを読み返してみよう。その際、英単語や重要構文やその他重要な事項等は、もう一度ノートに書き写してみよう。</p> <p>イ 宿題(問題集)は、出された当日に必ず自分の力で解いて答え合わせをする習慣を身につけよう。</p> <p>ウ 宿題(週末課題)は、週末土日課題ですので必ず自分で解いて答え合わせをして週明けの最初の授業に提出しよう。</p> <p>(5) 質問の方法: 分からないことは早めに担当の先生に尋ねよう。授業時間内の質問でも、放課後等でも質問することは可能です。</p>						
3. 学習評価	<p>学習評価は、定期考査・課題考査・授業内小テストの成績、提出された課題、学習態度等によって行います。特に、課題の提出については、学習評価の必須条件です。従って期限内未提出の場合は、当該科目が未認定になることもあります。</p>						
4. 学習サポート	<p>(1) 毎日の授業後、必ず宿題が出ますので家でやる習慣をつけよう。できれば、1度でなく、2度3度やるととても良いと思います。</p> <p>(2) 週末課題は、土日の課題です。辞書や参考書を使い、ゆっくりでいいですから、自分の力で考えてください。ただ答えを写すだけでは自分の力にはなりません。</p> <p>(3) 定期考査、課題考査の内容は、教科書、問題集、補足プリントの中から出されることがほとんどなので、中学校時代、やや苦手であったあなたも勉強すれば、確実に得点できます。</p>						